

はじめに

大学における学修が中学校や高等学校と異なるのは、自らが自らの責任において毎年の学修計画を立て、卒業に必要な単位を満たしていくという点にあります。

この『履修の手引』は、受講する科目の選択・登録から試験・単位の修得、さらには進級・卒業等の重要な手続や要件を、学則や関係する諸規程等に基づいて編集したものです。

毎年、『履修の手引』や掲示の見落とし、誤った解釈等による履修手続の不備や期限遅れが原因で、受講したい科目が受けられなくなるばかりか、進級・卒業できずに留年するような事態が起きています。こうした事態を未然に防ぐためにも、学年の始めには常にこの『履修の手引』を携帯し、機会あるごとに参照して正しい認識の下に各自で学修計画を立ててください。もし不明なところがある場合は、自己流の解釈をせず、学事課（教務担当）に相談し、解決するように努めてください。

なお、『履修の手引』の記載内容が変更された場合は、掲示でお知らせしますので、見落としのないように注意してください。

『履修の手引』の構成について

各ページにある
インデックスを
利用すると
掲載項目が一目で
分かります。

I

共通事項（全学生共通）

1

授
業

I 共通事項（全学生共通）

全学生を対象とした項目です。

ただし、項目によっては、入学年度・学科別に掲載されている箇所がありますので、注意してください。

授 業

1

履 修

2

試験・成績

3

単位認定制度

4

学 籍

5

その他

6

教務事務

7

教育課程の構成

8

進級・卒業

9

教育課程表

10

他学部・他学科開放科目／
産学連携教育プログラム

11

教職課程

12

編

II 編入学生特記事項

編入学生を対象とした項目です。

編入学生のみを対象とした制度等について掲載されています。

※各項目の詳細は次のページの
目次を参照してください。

目次

2017年度学年暦／建学の精神／学部長メッセージ／学科概要

I 共通事項

1 授業

1 授業	1
[1]学 期	1
[2]授業時間	1
[3]授業の出席	1
[4]授業の欠席	2
[5]休 講	3
[6]補 講	3
2 授業科目	3
[1]開 講 期	3
[2]配 当 年 次	3
[3]授業科目の種類	3
3 単 位 制	4
[1]単位制とは	4
[2]単位を修得するための学修時間	4
[3]各授業科目の単位数	4
[4]単位の認定	4

2 履修

1 履修のルール	5
[1]履修登録とは	5
[2]履修単位数の上限	6
[3]クラス指定	6
[4]再 履 修	7
[5]履修できない科目	7
2 履修登録方法	8

3 試験・成績

1 試 験	11
[1]試験の種類	11
[2]定期試験の欠席	12
[3]試験日程・受験手続	12
[4]試 験 時 間	13
[5]受験資格・受験上の注意	13
2 成 績	14
[1]成績評価・成績表記	14
[2]GPA(成績平均点数制)	15
[3]成績発表	16
[4]成績調査	16

4 単位認定制度

1 単位認定制度について	17
2 各制度の内容及び申請方法等	18
[1]既修得単位	18
[2]知識及び技能に係る審査の成果	20
[3]派遣留学生(約半年~1年間の海外留学)	42
[4]派遣留学生(短期海外研修)	43
[5]派遣学生(国内)	43
[6]インターンシップ	44
[7]GSMインターンシップ	44
[8]ボランティア活動	45
[9]GSMボランティア	45

5 学 籍

1 修業年限と在学期間	46
2 学籍の異動	47
[1]休 学	47
[2]復 学	48
[3]退 学	48
[4]除 籍	48
[5]転学部・転学科	48

6 その他

1 英語運用力テスト—新入生—	49
2 Meikai Plurilingual and Pluricultural Education Commons(MPPEC)	49
3 コンピュータ・コンサルティング・サロン(CCS)	50
4 科目等履修生	50
5 研 究 生	50

7 教務事務

1 証 明 書	51
2 事務取扱時間	52
3 問い合わせ	52
4 学生への連絡	53
[1]Webポータルシステムによる掲示配信	53
[2]掲示板の場所と掲示内容	53

8 教育課程の構成

- 1 授業科目の構成 55
- 2 専門科目 57
 - [1]専攻・コース概要 57
 - [2]専攻・コース登録 60
 - [3]専攻・コース変更 61
- 3 卒業論文 61
- 4 履修のガイドライン 62

9 進級・卒業

- 1 進級 68
 - [1]進級要件 68
 - [2]進級発表 71
- 2 卒業 72
 - [1]卒業要件 72
 - [2]卒業単位充足者・卒業予定者発表 84
 - [3]学位 84
- 3 年次(学期)別基準単位数 85

10 教育課程表

- 教育課程表 101

11 他学部・他学科開放科目/産学連携教育プログラム

- 他学部・他学科開放科目の履修 170
- 産学連携教育プログラムの履修 178

12 教職課程

- 1 趣 旨 181
- 2 取得できる免許状の種類 181
- 3 免許状の授与条件 181
- 4 教職課程の履修 181
- 5 教職課程の履修開始から教育職員免許状取得まで 182
- 6 教職課程表 185

II 編入学生特記事項

- 1 修業年限と在学期間 193
- 2 2年間の学修計画 193
- 3 既修得単位の認定 193
 - [1]包括・弾力認定 193
 - [2]個別認定(α)
—英米語学科2017年度編入学生— 193

- 4 専攻選択(2017年度編入学生) 194
- 5 卒業要件 195
- 6 その他 199
 - [1]クラス指定 199
 - [2]修得(認定)済科目の履修 199
- 7 教育課程表(編入学生用) 201

2017年度 浦安キャンパス学年暦

■前学期 4/1 (土) ~ 9/14 (木)

□ : 通常授業実施日

◻ : 休日授業実施日

◻ : 試験実施日

2017/ **4** April

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	Date	Schedule
						1	4/1(土)	学年始め
						2	3/27(月)	オリエンテーション(3年)
						3	3/28(火)	オリエンテーション(4年)
						4	3/29(水)	オリエンテーション(2年)
						5	3/27(月)~30(木)	成績調査願提出期間
						6	3/30(木)~4/1(土)	オリエンテーション(新入生・編入学生)
						7	3/27(月)	産学連携教育プログラム履修ガイダンス
						8	4/4(火)	入学式
						9	4/5(水)	前学期授業開始
						10	4/5(水)~10(月)	単位認定申請期間
						11	4/5(水)~11(火)	履修登録期間・履修相談期間
						12	4/10(月)	学生定期健康診断(1年)
						13	4/11(火)	学生定期健康診断(2年)
						14	4/12(水)	学生定期健康診断(3年)
						15	4/13(木)	学生定期健康診断(4年)
						16	4/14(金)	学生定期健康診断(予備日)
						17	4/18(火)	単位認定発表
						18	4/19(水)~21(金)	履修登録修正期間
						19	4/28(金)	前学期授業料等納入期限
						20		
						21		
						22		
						23		
						24		
						25		
						26		
						27		
						28		
						29		
						30	昭和の日	

5 May

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	Date	Schedule
	1	2	3	4	5	6	5/1(月)・2(火)	振替休日(休業)
	休業日	休業日	憲法記念日	みどりの日	こどもの日		5/17(水)	創立記念日(休日授業実施日)
	7	8	9	10	11	12		
	14	15	16	17	18	19		
			創立記念日					
	21	22	23	24	25	26		
	28	29	30	31				

6 June

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	Date	Schedule
				1	2	3	6/1(木)~30(金)	クリーンキャンペーン月間
	4	5	6	7	8	9		
	11	12	13	14	15	16		
	18	19	20	21	22	23		
	25	26	27	28	29	30		

■後学期 9/15 (金) ~ 3/31 (土)

□ : 通常授業実施日

◻ : 休日授業実施日

◻ : 試験実施日

9 September

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	Date	Schedule	
					15	16	9/15(金)	後学期授業開始 履修登録修正期間 9/15(金)~22(金) 9/18(月) 9/23(土)	
					履修登録修正期間				
17	18	19	20	21	22	23	9/18(月)		
	履修登録修正期間						9/23(土)		休日授業実施日 (敬老の日)
	敬老の日					秋分の日			休日授業実施日 (秋分の日)
24	25	26	27	28	29	30			

10 October

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	Date	Schedule
1	2	3	4	5	6	7	10/9(月)	休日授業実施日 (体育の日) 後学期授業料等納入期限 10/31(火)
8	9	10	11	12	13	14		
	体育の日							
15	16	17	18	19	20	21		
22	23	24	25	26	27	28		
29	30	31						

11 November

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	Date	Schedule
			1	2	3	4	11/1(水)~30(木)	クリーンキャンペーン月間 明海祭 (休講) ※準備、片付けを含む。
					文化の日		11/3(金)~6(月)	
5	6	7	8	9	10	11		
12	13	14	15	16	17	18		
19	20	21	22	23	24	25		
				勤労感謝の日				
26	27	28	29	30				

12 December

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	Date	Schedule
					1	2	12/15(金)	後学期定期試験時間割発表 休日授業実施日 (天皇誕生日) 12/23(土) 12/25(月) 冬季休暇 ~2018/1/6(土) 12/28(木) 振替休日 (休業)
3	4	5	6	7	8	9		
10	11	12	13	14	15	16		
17	18	19	20	21	22	23		
						天皇誕生日		
24	25	26	27	28	29	30		
31				休業日				

2018/ 1 January

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	Date	Schedule
	1 元日	2	3	4	5	6	12/25(月) ~2018/1/6(土)	冬季休暇
7	8 成人の日	9	10	11	12	13 休業日	1/9(火)・10(水) 1/9(火)~11(木) 1/11(木) 1/12(金)	休講日 後学期補講期間 後学期授業再開
14	15	16	17	18	19	20	1/13(土)・14(日) 1/15(月)~22(月)	大学入試センター試験準備日(休講) 大学入試センター試験(休業) 後学期補講期間
21	22	23	24	25	26	27	1/22(月) 1/23(火)~29(月)	後学期授業終了 後学期定期試験期間
28	29	30	31				1/30(火) 1/31(水)	後学期定期試験欠席届提出期限 春季休暇開始 単位認定申請期限 4年(8学期)

2 February

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	Date	Schedule
				1	2	3 休業日	2/3(土) 2/9(金)	振替休日(休業) 卒業単位充足者発表
4	5	6	7	8	9	10 休業日	2/9(金)・13(火) 2/9(金)・13(火) 2/10(土)	後学期追(再)試験時間割、該当者発表 後学期追(再)試験受験手続期間 振替休日(休業)
11 建国記念の日	12 振替休日	13	14	15	16	17	2/14(水)~16(金) 2/28(水)	後学期追(再)試験期間 単位認定申請期限 1年(1学期)~4年(7学期)
18	19	20	21	22	23	24		
25	26	27	28					

3 March

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	Date	Schedule
				1	2	3	3/1(木)	卒業予定者発表
							3/1(木)	成績発表 4年(8学期)
4	5	6	7	8	9	10	3/1(木)・2(金) 3/14(水) 3/15(木)	成績調査願提出期間 4年(8学期) 学位記授与式 進級発表
11	12	13	14	15	16	17	3/15(木)	成績発表
18	19	20	21 春分の日	22	23	24	3/31(土)	1年(1学期)~4年(7学期) 学年終了
25	26	27	28	29	30	31		

注意 学年暦の変更、授業に直接関係のある緊急事項及び諸行事等の詳細日程・場所等については随時掲示で指示します。
また、休業日は事務窓口取扱等は一切行いません。

■教職課程関係

Date	Schedule
2017年3月27日(月)	3年 介護等の体験事前ガイダンス
3月27日(月)~31日(金)	3年 介護等の体験申請書提出・費用納入期間
3月28日(火)	4年 教育実習事前ガイダンス
3月29日(水)	2年 教職課程ガイダンス(教職課程の履修について)
4月1日(土)	1年 教職課程ガイダンス(教職課程の履修について)
4月3日(月)	3年 編入学生教職課程ガイダンス(教職課程の履修について)
4月3日(月)~5月31日(水)	3年 教育実習依頼状交付願提出期間
4月10日(月)~14日(金)	4年 教育実習費納入期間
4月10日(月)~14日(金)	2年 教職課程履修費納入期間
12月上旬 ※別途掲示で指示します。	4年 教育職員免許状一括申請ガイダンス
12月中旬 ※別途掲示で指示します。	4年 教育職員免許状一括申請期間
12月中旬 ※別途掲示で指示します。	2年 教職課程ガイダンス(介護等の体験について)
12月中旬 ※別途掲示で指示します。	2年 教職課程ガイダンス(教育実習校開拓等について)
2018年3月14日(水)	4年 教育職員免許状授与

建学の精神

社会性・創造性・合理性を身につけ、
広く国際未来社会で活躍し得る有為な人材の育成をめざす

社会性

今や、人類共存の理念は、地球の資源問題、環境問題を抜きに考えられない時代を迎えました。地球規模で進行しつつある高齢化社会に伴う労働社会問題、低迷を続ける国際経済問題、発展途上国における社会経済問題等々、解決すべき問題は山積しています。これら全人類の課題と取り組み、人類の繁栄と幸福を推進するため、和を重んじ、心豊かな社会性に富む人間を育成し、学際領域にも及ぶ総合的教育研究を行います。

創造性

今日、科学技術・学術研究の先端が次々に新しい展開をしており、大学としてその時代の最先端をどのようにリードしていくかという課題に直面しています。しかし、大切なことは、一方的な技術の振興を図ることではなく、技術の進歩と人間性の調和を図りつつ世界への貢献を果たさなければなりません。人類の生き方について、未来からの挑戦を受けていると言われる今日において、学問の世界は、まさに自然科学はもとより人文・社会科学などの分野においても激動の時代を迎え、学際的な領域から価値の見直しが迫られています。知の継承、創造の拠点である大学はより国際競争力を強化し、大学の多様性を発揮して、このような時代において、総合的見地から、国際未来社会を切り拓く創造性豊かな教育研究を行います。

合理性

高度情報化社会を迎え、情報量は増大し、情報なくして個々の人間は、自己の意思決定すら出来ない感を呈しています。科学技術の発達は、人々の生活様式を変え、価値観にも大きな影響を及ぼすことから、科学技術の独り歩きは許されることはありません。従って、科学技術のコントロールの完全を期するとともに人間性の発揚に心がけ、未来社会を切り拓く信念が重要となります。このため、合理性ある教育研究の場を醸成します。

このように本学の建学の精神は、社会性・創造性・合理性を身につけ、広く国際未来社会で活躍し得る有為な人材の育成を目指すものであります。

じぶんのあたまで 考える習慣をつけよう

外国語学部長 大津由紀雄

わたくしのあいさつで、これから何度も聞くことになるのが「じぶんのあたまで考える習慣をつけよう」です。

明海大学外国語学部で学んだ証に身につけてほしいこと、それが《じぶんのあたまで考える習慣》です。聞いたことあるでしょ、《じぶんのあたまで考える》って。でも、これ、なかなか厄介なんです。だって、《考える》っていうのは見えませんからね。だから、「《じぶんで考える》っていうのはこういう風にするんだよ」と見せてあげることができません。見せてあげられるのは《じぶんのあたまで考えた》結果だけです。明海大学外国語学部では先人たちが《じぶんのあたまで考えた》結果を、それも選りすぐりのものを講義をとおしてみなさんに提供します。

でもね、それだけでは《じぶんのあたまで考える》ことができるようにはなりません。ほかに何が必要なのでしょう。それは、先人の例を参考にしながら、じぶんで実践してみることです。しかし、最初からそれがうまくいくというわけではありません。試行錯誤の繰り返しが重要です。加えて、みなさんが《じぶんのあたま》で考えた結果にコメントを加えてくれる人が必要です。もうおわかりですね。外国語学部の教員は喜んでその役割をお引き受けします。

まずは、講義をとおして、教員が《じぶんのあたまで考える》ために必要な素材を提供します。講義を十分に活用するためには、どんな講義があるか、それをどのように履修したらよいかを知ることです。前者は「講義概要」に、後者はこの「履修の手引」に詳しく説明してあります。熟読してください。

明海大学外国語学部へようこそ！

学科概要

—2014年度以降入学生—

日本語学科

言葉力 人間は「言葉」を使って考えます。人間は、家族、友だち、恋人、配偶者、先生、先輩・後輩、同僚・上司・部下など、多くの人と接し、自分の考えや意思や感情を伝え、相手の意図を理解して生きています。「言葉」はコミュニケーションの道具です。将来どの道を歩もうとも、あなたの国語力・日本語力が求められます。

情報力 現代社会には大量の情報が流れています。どの情報が価値があり、どのように情報を使いこなすか。正確な情報、役立つ情報を見分ける力、正確でわかりやすく情報を発信する力であなたの人生は変わります。

教養力 確かな知識と経験をもとに、論理的に考え、わかりやすく述べる力、自分の考えを他の人に理解してもらう力、その場の雰囲気を読む力、人に好かれる態度や行動などの総合力が社会では必要です。

日本語学科は、生きる力の源＝**学ぶ力**、それを支える**言葉力**、**情報力**、**教養力**を身に付ける学科です。国語力・日本語力と、日本や世界についての豊かな知識と経験が身につけるところです。将来、中学校・高等学校の国語教員及び国内外の年少者や成人に対する日本語教員〔日本語専攻（JLM：Japanese Language Major）〕、国内外のホテル・観光業、金融業、商業、販売業、製造業、出版業、広告業などでの仕事に就く人材〔グローバル・スタディーズ専攻（GSM：Global Studies Major）〕を少人数制、担任制、特別対策指導などで育てます。

英米語学科

英語による実践的なコミュニケーション能力の習得とその能力の基盤となる文化的背景の理解—これが、本学科の基本的な教育目標です。さらに、グローバル社会の進展を見据え、複言語能力（英語＋中国語）と国際教養（諸外国の文化・社会・ビジネスに関する基礎知識）の涵養も目指します。

21世紀のグローバル社会で活躍するためには、英語に関するコミュニケーション能力や文化的背景の理解は言うに及ばず、英語以外の外国語についての理解と様々な地域の文化・社会・経済・ビジネスに

ついての教養を深める必要があります。そのため、本学科では、英米語専攻（ELM：English Language Major）とグローバル・スタディーズ専攻（GSM：Global Studies Major）という2専攻を設け、学生それぞれの希望や資質を踏まえて、専門性を高めていきます。ELMに所属する学生は、言語や文化や教育についての理解やスキルの向上を目指す科目を中心に履修することにより、将来の進路達成を目指します。GSMに所属する学生は、新設のコア科目、英語圏に関するグローバル科目、フィールドワーク科目等の履修を通して、グローバルな人材に必要とされる素養を身につけ、卒業後の進路の実現を目指します。

中国語学科

グローバル時代に必要な能力とは何でしょうか。それは、外国語をその社会的背景を含めて理解・運用できる「異文化コミュニケーション能力」と、時代や状況の変化に柔軟に対応し得る「教養力」であると考えています。2020年にオリンピックを首都東京で迎える日本は、まさにグローバル時代に即応した人材の育成が急務となっています。

世界で第二位と第三位のGDPを誇る中国と日本、そして急成長を続けるASEANを視野に入れるとき、21世紀のグローバル社会の主役の一つがアジアであることは明らかです。この地域で最も話されている言語が中国語と英語であることを考えれば、いま中国語を学ぶ意義も明らかでしょう。本学科では、これまで少し学んだ経験のある人も、全くのゼロからはじめる人も、実用的で「使える」中国語が修得で

きます。たった4年間で実用的な中国語が修得できる理由は、明海大学独自の「明海メソッド」にあります。週8コマの少人数クラスの中国語の授業は、すべての講義が相互に関連を持ち、授業を受けているうちに自然と文法をマスターし、話せるようになってきます。

中国語専攻（CLM：Chinese Language Major）では、中国語を訓練し、さらに中国の歴史・社会・文化を理解して、中国に精通した人材の育成を目指しています。

グローバル・スタディーズ専攻（GSM：Global Studies Major）では、経済や会計などビジネスに直結する講義や、グローバルに活躍する先人たちの話を聞く授業も用意されています。

いずれの専攻も、一人ひとりの「学び」をサポートする、しっかりとしたカリキュラムが用意されています。

学科概要

—2013年度以前入学生—

日本語学科

グローバル化社会では、外国人と関わることは日常的です。日本語学科は、日本語と日本文化を正しく理解し、それを世界に発信できる人材の育成を目指しています。本学科のカリキュラムは、日本語学、言語学、日本文化、異文化間コミュニケーション等の専門的素養を深め、その上に日本語教育・国語教育の実践能力を養っていくよう組み立てられています。

す。また、海外協定校の学生も多く、外国人留学生と交流できます。また、希望に応じて短期海外研修・海外日本語教育実習に参加する機会を設けています。

日本語学校（複数）での日本語教育実習の機会も提供しています。このほか、各種のインターンシップの機会を提供しています。

現場でその実際を体験できるということは、卒業後の職業選択を考える際にも大いに役立つでしょう。社会との関わりを考えた実学志向が本学科の特徴です。

英米語学科

英語による実践的なコミュニケーション能力の習得とその能力の基盤となる文化的背景の理解—これが本学科の教育目標です。

21世紀の国際化社会では、単なる語学知識ではなく実践的なコミュニケーション能力が必要とされます。そのため、本学科では、様々な工夫をカリキュラムに盛り込んでいます。「通訳・翻訳コース」「ビジネスキャリアコース」「言語・文化・教育コース」の3コースを設け、多くのネイティブ教員が担当する1・2年

生用必修英語科目群（Intensive English Program：IEP科目）と3・4年生用選択英語科目群（Interpreting Skills, Advanced Listening SkillsなどのSkill科目）を中心に、将来につながるコミュニケーション能力の育成を目指しています。専門科目では、1・2年次の「概論」科目と「専門基礎」科目で基礎を固め、3年次からは「英米語学科ゼミ」を中心に「特講」科目を交えて一人ひとりの専門性を高めます。

そのほか、海外研修や留学のチャンスも、長期・短期ともに充実しています。また、TOEIC、TOEFL、英検などの資格を取得して社会で活躍しようとする学生のための指導体制も整っています。

中国語学科

グローバル時代に必要な能力とは何でしょうか。それは、外国語をその社会的背景を含めて理解・運用できる「異文化コミュニケーション能力」と、時代や状況の変化に柔軟に対応し得る「教養力」であると考えています。2020年にオリンピックを首都東京で迎える日本は、まさにグローバル時代に即応した人材の育成が急務となっています。

世界で第二位と第三位のGDPを誇る中国と日本、そして急成長を続けるASEANを視野に入れるとき、21世紀のグローバル社会の主役の一つがアジアであることは明らかです。この地域で最も話されている言語が中国語と英語であることを考えれば、いま中

国語を学ぶ意義も明らかでしょう。本学科では、これまで少し学んだ経験のある人はもちろん、全くのゼロからはじめる人でも、実用的で「使える」中国語が修得できます。たった4年間で実用的な中国語が修得できる理由は、明海大学独自の「明海メソッド」にあります。週8コマの少人数クラスの中国語の授業は、すべての講義が相互に関連を持ち、授業を受けているうちに自然と文法をマスターし、話せるようになります。また、上級者には同時通訳を専門に勉強できる設備を整えており、早くから通訳練習を積むこともできます。もちろん中国語検定試験に対応した授業も用意されています。

中国語を訓練し、さらに中国の歴史・社会・文化を理解して、中国に精通した、国際的に活躍できる人材の育成を目指しています。